

講義コード	11C1110502	授業形態	講義	事前登録の有無	あり	担当教員		開講期	
科目名	経済フィールドワーク2(小林隆)				小林 隆史			第2期	
履修前提条件					備考				
授業の目的	調査対象を様々な視点から観察し、独自の分析を行い、とりまとめて他者に正確に伝える力を鍛錬すること。調査対象は、原則として実際の経済・産業のフィールドとし、歴史・地勢・産業などのデータ収集とあわせて座学では得られない、現場における調査経験を通じて実践的に学ぶこと。また、基本的にグループ単位で調査・分析を行い、メンバー同士のコミュニケーション能力や協調性も体得すること。								
到達目標	対象とする経済・産業活動など、実際の現場に関する多角的な分析の視点を養い、データの収集や整理、関連情報のとりまとめができる。また、実態把握・問題解決などの目的をもって、調査を実践することができる。グループでの話し合いやとりまとめ分担などの共同作業に協調できる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	講義およびグループワークによる作業や議論が中心となるため、データ収集や資料のとりまとめなど、各自の分担作業については授業時間外に行うことが必要となり、計60時間以上の授業外学修を実施することを推奨する。また、所定の授業時間以外に、単位取得上必須となる学外での現地調査を実施する。								
授業計画	【第1回】 イントロダクション 【第2回】 フィールドワークとは 【第3回】 調査と分析 【第4回】 分析手法の選択 【第5回】 データとは 【第6回】 データ収集と集計 【第7回】 グループワーク① 【第8回】 ヒアリングとアンケート				【第9回】 グループワーク② 【第10回】 フィールドワークの準備 【第11回】 グループワーク③ 【第12回】 プレゼンテーションの方法 【第13回】 グループワーク④ 【第14回】 レポート作成の方法 【第15回】 グループワーク⑤				
成績評価の方法	①学外フィールドワークへの参加(必須)②レポート③グループワークへの貢献④授業態度、等の総合評価。								
フィードバックの内容	授業内プレゼンテーションへの講評、グループワークや課題に対するアドバイス等を行う。								
教科書									
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	募集人数は20名程度。履修申請には当該年度に対応するガイダンスへの参加が必須。単位取得には講義への出席、及び学外フィールドワーク(東京都品川区:10月~12月の土日から2日間を予定)への参加が必須。								
オフィスアワー	質問・相談は学部学科にて定めるオフィスアワーにて受付ける。 また、「学籍番号@rissho-univ.jp」から発信されたkoba@ris.ac.jp宛メールでのみ、他の時間帯で予約を受け付ける。								
その他	学外フィールドワーク費用(交通費・宿泊費・施設見学費など)のうち、履修者の負担分として2,000円程度を想定。学外フィールドワーク等に充てた時間を授業時間より振り替えることがある。参考資料等は適宜指示する。学外フィールドワーク実施日に土曜日を含むため、土曜日に他の授業を履修しているものの受講は認めない。								